

地域の支え合い通信

～であい♥つながりあい♥支えあい～



地域ケア推進会議（協議体）で地域の課題を話し合いました！

地域ではさまざまな活動が行われていますが、居場所活動の運営者から「男性の参加者が少なく悩んでいる」という話をよくお聞きします。

また、地域ケア個別会議（ケース検討会）でも「居場所やサークル活動等の推進」が課題としてあがっていました。

そこで、令和2年2月10日（月）に開催した協議体で、男性に地域活動等へ参加してもらうためのポイントを話し合いました。



地域活動等に男性に参加してもらうための4つのポイント

1 活動に目的がある

集まること自体が楽しみというよりも、目的のために集まる。「運動をするため」など目的がはっきりしている活動には参加しやすい。

2 地域の役に立つ

自分のしたことが誰かのためになると参加した意義を感じる。

2-2：具体的なお手伝いをお願いされる

「会場設営を手伝って」など具体的なお願いをしてもらった方が行動しやすい。「手伝って」だけだと漠然としていて何をしたらいいか悩んでしまう。

2-3：得意なことを活かせる

これまでの経験や技術を活かせる、はじめの一步が踏み出しやすい。

3 男性だけの集まりには参加しやすい

男性が少ない集まりには参加しづらい。女性に気を遣わず気楽に集りたい。

4 たまには料理やお酒があると嬉しい

“ほどほどに”が大切だが、参加するきっかけにはなりやすい。

令和元年度後期 活動報告

令和元年 10月～令和 2年 3月

生活支援コーディネーターが関わった地域での支え合い活動などを一部ご紹介します。



実態調査から今後の取り組みを検討

鏡町内会と成和町内会では、地域の現状を知るためにアンケート調査を行い、その結果を踏まえて、今後地域でできる支え合い活動について考えました。

鏡町内会

アンケート対象者：70歳以上の方がいる世帯
アンケート回収率：86.5%



アンケート後、町内会長、民生児童委員、福祉推進委員、福祉協力員で話し合いを行いました。

アンケート結果で早急な支援が必要な人は少なかったことから、見守り活動などの既存の活動を充実させることに決めました。

2月25日（火）には、次年度役員を引き受けてくださる方も含めて、福祉の勉強会を行いました。「役員みんなで活動の基礎を学べ、ボトムアップになったと思います。」「今回の学びを活かして見守り活動の記録用紙を見直すことにしました。話し合いの機会も増やして、情報共有を図っていきたいと思います。」とのお声をいただきました。

成和町内会

アンケート対象者：全世帯
アンケート回収率：45.9%



アンケート後、町内会長、民生児童委員（新旧）、福祉推進委員、福祉部（部長、副部長）で話し合いを行いました。

アンケート結果で少数でも支援を必要としている人がいたことから、「成和支え愛クラブ（仮）」を立ち上げ、日常生活のちょっとしたお手伝いや居場所活動を始めことにしました。活動に賛同してくれるボランティアさんを募集中で、令和2年度にはボランティア向け説明会を行うなど活動開始に向けた準備をしています。



「ふくしのまちづくりプロジェクト」

小地域福祉活動に携わる方だけでなく、他分野の活動者や企業などと協働して解決策を考える「ふくしのまちづくりプロジェクト」。

『買い物支援』をテーマに呼びかけたところ、向ヶ丘町内会と王子八幡町内会が手をあげてくれました。



向ヶ丘町内会

買い物に関する実態調査に向けて話し合いを行う中、町内会有志が奉仕活動の一環で行っている活動を充実させ「向ヶ丘有志オタスケ隊」を結成する方向になりましたので、本プロジェクトは中断しました。



「向ヶ丘有志オタスケ隊」は、買い物支援だけでなく自宅周辺の補修作業、庭の手入れ、水道やガス漏れの確認作業などの活動を想定されており、「困りごとのある向ヶ丘町内会会員の支えになれば…」 「健康な高齢者や技術をもった高齢者の社会参画と健康増進を引き出せば…」という願いももたれています。現在、活動について打ち合わせを行っている段階です。

王子八幡町内会

アンケート対象者：70歳以上一人暮らし世帯
70歳以上夫婦のみ世帯
70歳以上障がい者のいる世帯
アンケート回収率：97.8%

買い物に関する実態調査に向けて話し合いを行う中、せっかくアンケートを行うなら幅広く住民の意見を聞きたいというご意見が出たため、生活全般に関するアンケート調査を行いました。

アンケート結果で早急な支援が必要な人は少なかったものの、王子八幡町内会が高齢化率も高く数年後には困りごとが他人事でなくなるので元気なうちに支え合いのしくみを考えることになりました。



現在、“生活支援ボランティア”と、何かあった時に相談しやすい間柄になるための“つながりづくり”の方法などについて話し合っています。



居場所活動 視察研修受け入れ

1月26日(日)うきは市御幸地区自治協議会からの依頼を受け、居場所活動に関する視察研修(参加者:33名)を行いました。

事例発表では、志免町で活発に居場所活動を行っている田富町内会「わいわいカフェ」と桜丘中央町内会「たのしカフェ」の代表の方にお越しいただき、活動が始まった経緯や事前準備、活動内容などをお話いただきました。

御幸地区自治協議会からは、居場所に関する質問だけでなく、自治協議会と自治会、公民館主事との連携方法など多くの質問が寄せられ、有意義な視察研修となりました。発表者の皆様、ご協力ありがとうございました。



【わいわいカフェ発表者】
片山町内会長



【たのしカフェ発表者】
梅田老人クラブ会長
野村老人クラブ副会長



研修会の様子



社会参加・交流の場(サークル・習いごとなど)一覧表作成

住民の皆さんに教えていただいた「主に公民館を中心に行われているサークル活動や自主活動、クラブ、習い事の教室など」をまとめました。

町内で行われている全ての情報を掲載できている訳ではありませんが、少しずつ皆さんから情報をいただき、内容を充実させていきたいと思っております。

掲載したい活動がある方は、志免町社会福祉協議会までご連絡ください!



生活支援コーディネーターのご紹介



生活支援コーディネーターは「地域支え合い推進員」とも呼ばれ、地域での支え合い活動を広める役割を担っています。

介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で自分らしくいきいきと暮らしていけるよう、住民の皆さんや事業所、各種団体などと協働しながら、地域における支え合いの体制づくりを進めていきます。

志免町では町からの委託を受け、志免町社会福祉協議会が担っています。

【お問い合わせ先】 志免町社会福祉協議会 TEL: 092-937-3011